



決意

これまで、皆さま方にお支えいただき、深く感謝申し上げます。

私には、小学5年生、2年生、そして、0歳の3人の息子がいます。育友会や子ども会活動などを通じて、地域の子どもたちと接する機会をいただき、自分が子どもだった頃から比べると、子どもたちが少なくなっていることを実感します。

石川県の未来を担う子どもたちは社会の宝です。社会全体で子どもたちを笑顔にすることが、私たち大人の責任ではないでしょうか。

石川県の未来をより良いものとし、子どもたちにつないでいくためには、子育て支援を充実することのみならず、仕事と家庭を両立できる社会を実現することや、地域コミュニティを活性化すること、医療・介護・福祉サービスを充実することなど、多くの課題を解決しなければなりません。

一人ひとりの「声」を「想い」を集集すれば、大きな力となり、生活は変わります。子どもたちからご高齢の先輩方まで、全ての世代の皆さまが、元

いま、**打出**の未来に
打ち出す。

うちで

打出 UCHIDE
Kiyofumi 37歳
きよふみ

気な地域で安心してらせる石川県をつくるため、皆さまとともに考え、そして歩みを進めます。

精一杯がんばります。どうぞよろしく
お願いいたします。

打出 喜代文

医療・介護・福祉サービスの充実は重要です。

しかし、危機的な状況にあることをご存知ですか？ [裏面へ](#) ➡

医療 介護 福祉サービスの充実に向けて

2025年には、約800万人いるとされる団塊世代が後期高齢者（75歳以上）となり、超高齢社会を迎えます。医療・介護・福祉のニーズがますます高まる一方、人手不足が深刻化することに加え、現場は変則的な勤務による身体的負担の増大など多くの課題を抱えています。

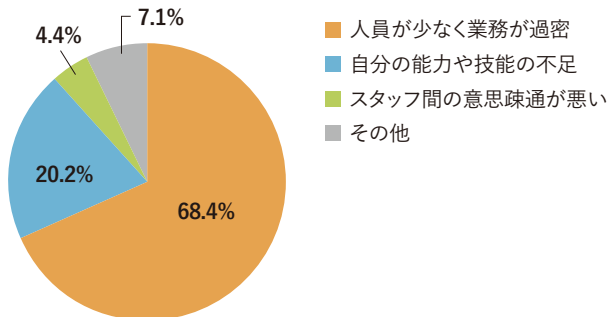
今回、まずは医療サービスの充実にむけ、医療従事者の働き方に関する課題を洗い出すため、2,286人（回答率71.0%）の方に医療現場の声をお伺いしました。

医療従事者の労働環境について（アンケート結果）

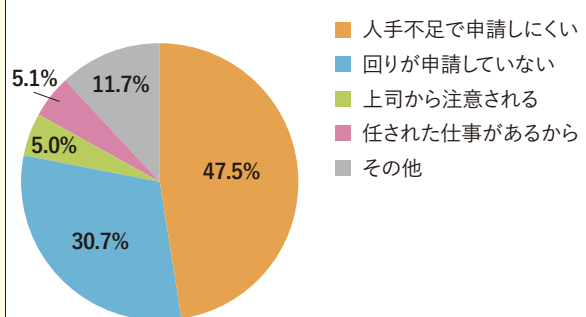
主な調査結果

- 仕事への不満、悩みは、「人員が少なく業務が過密」が約7割を占めている。
- 7割近くの方が昨年度よりも仕事が増えたと感じており、そのうち4分の1以上の方が大幅に増えたと感じている。
- 年次有給休暇の取得日数は平均5.5日となっている。
- 6割以上の方が自分の思い通りに年次有給休暇を申請できていない。
- 約3割の方は休憩時間をきちんと取得できていない。
- 定年が延長された場合、働き続けるよりも、仕事をやめようと考えている人の方が多い。

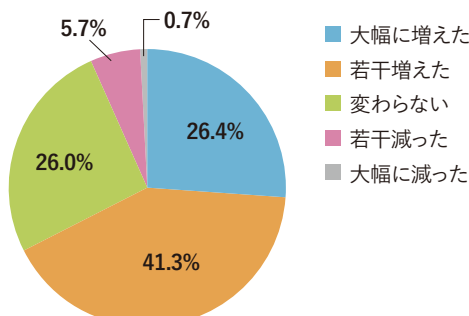
仕事への不満、悩み



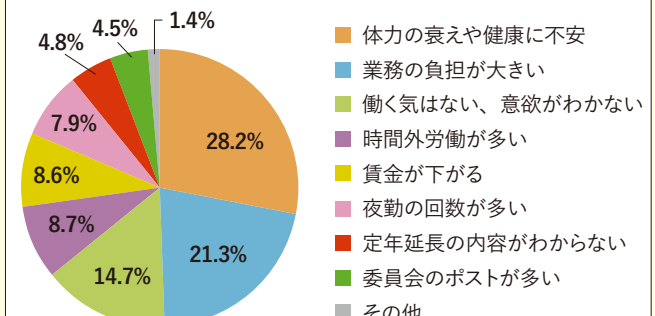
年次有給休暇を取得できない理由（複数回答可）



昨年度と比較した仕事量の変化



定年延長された場合に仕事を続けられない理由（複数回答可）



12月21日に、アンケート結果をもとに、知事に対し「**医療職場の働き方に対する要請書**」を提出しました。今後も、医療サービスの充実にむけ、各種関係者の皆さまとともに考え、そして歩みを進めます。